

「聖霊によって生まれた教会」(2023 ペンテコステ)

使徒の働き 2章 37～47節

使徒の働きの二章には、エルサレムで祈っていた人たちに起こった不思議なできごとの描写から始まり、その意味について旧約聖書の預言とイエスキリストの十字架と復活から語ったペテロのメッセージ、そして福音を信じて洗礼を受けた人たちの姿が記されています。

ここには、まだ教会という名前では紹介されませんが、聖霊なる神によって誕生した新しい共同体の姿が記されています。



① 教えられ、守られている神のことば

“彼のことばを受け入れた人々はバプテスマを受けた。その日、三千人ほどが仲間に加えられた。彼らはいつも、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしていた。” 41-42

② 互いに愛し合い、必要を分かち合う交わり

“私たちが見たこと、聞いたことを、あなたがたにも伝えます。あなたがたも私たちと交わりを持つようになるためです。私たちの交わりとは、御父また御子イエス・キリストとの交わりです。” 1ヨハ 1:3

“信者となった人々はみな一つになって、一切の物を共有し、財産や所有物を売っては、それぞれの必要に応じて、皆に分配していた。” 44-45

③ 会堂と家々に集まりささげられる礼拝

“そして、毎日心をつにして宮に集まり、家々でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、” 46

④ 姿とことばで証しされている福音

“神を賛美し、民全体から好意を持たれていた。主は毎日、救われる人々を加えて一つにくださった。” 47

*話し合ってみよう

- ・ イエス様は、弟子たちに対して「聖霊が臨むときにあなたがたはわたしの証人となります」と約束されていました。ここに見られる弟子たちの姿から、「イエスキリストの証人」となるということについて話し合ってみましょう。
- ・ 今日のポイントの中で心にとまったことがありますか。それをどのように実践していくことができると思いますか。